

滋賀県道路整備アクションプログラム
地域別アクションプログラム(甲賀土木事務所)



甲賀地域ワーキングニュース vol.1



滋賀県道路整備アクションプログラムの見直し に向けた地域ワーキングを開催

昨年度、滋賀県では、道路整備の基本方針である「滋賀県道路整備マスタープラン」を10年ぶりに見直し、「客観的評価マニュアル※」の改正もあわせて行いました。

これを受けて、今年度は、平成20年6月に策定した実施計画である「滋賀県道路整備アクションプログラム2008」の見直しを行います。

甲賀土木事務所では、管内における地域課題を抽出し、その課題を踏まえた今後の道路整備について提言を行うことを目的に、有識者、道路利用者等からなる「地域ワーキング」を開催しました。

道路整備アクションプログラムとは

「道路整備アクションプログラム」とは、「どこに、どんな道路が、いつまでに必要か」を具体的に示した道路の整備計画のことで、県内8地域別に策定しています。このプログラムは、社会情勢の変化に応じ、最長でも5年後には見直すこととしています。このため、平成15年度の公表から5年後の平成20年度に最初の見直しを行い、『アクションプログラム2008』を策定しました。

2回目の見直しとなる『アクションプログラム2013』では、平成25年度～34年度までの10年間における道路整備計画を策定します。

■平成20～24年度の間に完了した事業の一例 国道307号 甲賀市水口町牛飼・山上



※客観的評価マニュアルとは？

「客観的評価マニュアル」は、道路事業の優先度を点数化し、客観的に評価する基準です。これにより、バイパス整備や道路拡幅、交差点改良などの「改築事業」、歩道や自転車歩行者道整備などの「交通安全事業」について、A・B・Cの3段階でランク分けを行い、優先度を判断します。

第1回地域ワーキング 開催概要

【日時】

平成24年8月6日(月)
14:00～16:00

【場所】

甲賀合同庁舎 4階4A会議室

●地域ワーキングの目的

甲賀土木事務所管内の地域課題を抽出し、その課題を踏まえた今後の道路整備について、提言を行うことを目的とする。

●地域ワーキングの検討内容

- ① 地域の道路・交通の現状、問題点、課題について
- ② 客観的評価マニュアルにおける改築事業の地域の重点項目について
- ③ 評価結果に基づく整備箇所(案)について
- ④ 提言書について

●今後のスケジュール

第1回 ワーキング

5年間を振り返り、地域の道路、交通の問題点や課題等についてご意見を伺いました。

第2回 ワーキング

地域課題を抽出し、客観的評価マニュアル※における地域の重点項目を議論します

第3回 ワーキング

アクションプログラム2013における整備箇所(案)や提言書について議論します。

アクションプログラム2013 策定
(平成25年3月予定)

ワーキングで頂いた主なご意見

アクションプログラム 2008 等の道路整備による地域の変化

- ・国道 1 号バイパスの整備、新名神の開通とインターチェンジ（甲賀土山・甲南・信楽）の設置、それに伴うバイパスやアクセス道路の整備により、広域交通の面では非常に便利になった。その反面、バイパスやインターチェンジ付近では交通量が増え、高齢者や自転車通学の学生等が危険な状況になっているところもある。
- ・新名神開通に伴い大型車両が減少し、大型車が関係する事故は減っている。その一方、朝夕に交通渋滞が発生し、その抜け道として通学路が利用され、児童との接触事故が起こっている。

甲賀地域における道路の問題・課題

【交通弱者に配慮した安全・安心の確保】

- ・子どもの安全面では、通学路で非常に危険な箇所がある。
- ・高齢者と子どもたちが、多く事故にあっているとのこと。どう改善していくのかが大きな問題。
- ・通学路には自転車専用道路的なゾーンを設ける等の対策をしてもらえればありがたい。
- ・車いすや自転車等での利用を想定すると、道路の安全性が不十分。
- ・交通安全対策が今後の課題。

【広域交通ネットワークの充実】

- ・甲賀土山インターから名阪までの自動車専用道路をお願いしたい。名阪と甲賀土山インターの間を移動する自動車を通学路等を通り、非常に危険な状況。
- ・アクセスを良くすることで地域交流ができる。交通網の充実が必要。

【その他】

- ・冬期路面凍結によるスリップ事故対策をお願いしたい。
- ・国道 307 号滝川橋から杉谷のほうへ下りる道（県道柑子塩野線）が危険。
- ・甲南中学校の通学路で安全面の配慮が必要（県道水口甲南線）。

甲賀地域の道路整備を考えていくうえで必要なこと

- ・限られた財源であるが、この地域の特徴として「安心・安全」が一番だと思う。
- ・生活者あるいは通学者という弱者に対する道路の交通面での危険性をなくすことが大きな観点の一つ。
- ・災害に強い道路が必要。広域的なネットワークの中で考えるべき。
- ・東日本大震災をふまえ、災害時に代替路線として機能する道路整備のプライオリティを上げるような提言をすべき。
- ・地域の活力ある経済活動を支えていくためにも、道路は当然必要。時代に応じて道路整備の考え方も変わる。
- ・道路の役割を整理していくことが必要。



地域ワーキング委員

（敬称略、五十音順）

伊地智 良雄

[滋賀県トラック協会甲賀支部]

大西 日出夫（座長）

[県土木交通部 OB]

杉田 光

[社会福祉法人 甲賀市社会福祉協議会]

龍池 誉男

[市民代表]

廣岡 茂樹

[市民代表]

藪 育子

[甲賀のみち女性会議]

● 交通管理者・行政関係者

青木 小司

[湖南市 建設経済部]

藤井 秀彦（第 1 回代理出席 山本泰彦）

[甲賀市 建設部]

横江 一郎（第 1 回代理出席 田中信行）

[甲賀警察署 交通課]

滋賀県道路整備アクションプログラム
地域別アクションプログラム
（甲賀土木事務所）
～甲賀地域ワーキングニュース～

2012 年 8 月発行

【編集・発行】

滋賀県甲賀土木事務所道路計画課
〒528-8511

甲賀市水口町水口 6200（甲賀合同庁舎 2F）

TEL: 0748-63-6159

FAX: 0748-63-1504

E-mail: ha32300@pref.shiga.lg.jp

URL: <http://www.pref.shiga.jp/h/m-doboku/index.html>